



ほけんだより 4月号

平成30年4月2日
百合が丘ひまわり保育園
病児看護師
保育看護師

新入園の皆さん、ご入園おめでとうございます。新しいお友達が増え、新年度が始まりました。今後子ども達が、健やかに元気いっぱい園生活を過ごすことができますよう、保健に携わってまいります。年度当初は、環境が変わり緊張から子ども達も、新入園のお子様はより、疲れやすくなっています。ご家庭では、ゆっくり休養できるようご配慮をお願いします。

保健行事のお知らせ

当園で行う保健行事の年間予定をお知らせいたします。

毎月	身体測定（身長・体重・頭囲・胸囲）	10月	視力検査（3歳児以上）
6月	内科健康診断 歯科指導 尿検査（3歳児以上）	11月	歯科検診
7月	歯科検診	12月	内科健康診断 尿検査（3歳児以上）
		2月	聴力検査（3歳児以上）

嘱託医

内科医師	上甲医院	上甲	宏
歯科医師	小林歯科	小林	ゆかり



<園で預かる薬について> 常駐看護師が管理、与薬いたします。

- ① お薬依頼書（必要事項を記入してください） * 当園玄関にも用紙はご用意してあります。
- ② 薬 * 誤飲等間違い防止のために、液体のものはそのままボトルごと、粉薬は1包のみでお願いいたします。1包ずつに、組、日付、名前の記入をお願いいたします。
- ③ 薬剤情報提供書 * こちらが無い場合やお忘れになった場合は、申し訳ありませんがお受けできません。

① ② ③を保育士または看護師に必ず手渡して下さいますよう、よろしくお願いいたします。



このように、当園で用意するジップロックの袋に薬、薬剤情報提供書、お薬依頼書を入れてお持ちください。

注意事項（安全確保の為ご理解、ご協力をお願いいたします。）

- * 市販の薬、解熱剤、鎮痛剤はお預かりできません。
- * 必ず医療機関からの処方であること、保護者の判断で持参した薬は対応できません。

<ホクナリンテープ（ツロブテロールテープ）について>

気管支を広げて呼吸を楽にする薬です。副作用として、心臓に強い衝撃を与えたり、脈が速くなる、手が震える等がありますので、医師に指示された用法・用量を守り貼って下さい。テープではありますが薬剤ですので、必ずテープにマジックで名前、日付の記入をしてから貼るようお願いいたします。尚、テープが剥がれた場合は、薬の効果が変わってしまうことや、不衛生になりますので、保育園で処分させていただきます。登園時に、貼ってある位置を確認票に記入し、保育士に渡して下さい。

※確認票の用紙はお薬依頼書の横に置いてあります。

<お知らせ>

意見書、登園届、お薬依頼書、気管支拡張剤のテープ確認票が、ひまわり保育園ホームページよりダウンロードできるようになりました。印字してご利用ください。



平成30年4月11日
百合が丘ひまわり保育園
病児看護師
保育看護師
No. 2

新年度になり1週間が経ちました。元気いっぱい遊ぶ子供たちも、環境の変化などにより疲れが出たり体調を崩しやすい時期です。元気に過ごすためにも、規則正しい生活リズムを心がけ、4月後半も子どもたちが安全に生活できるよう、保護者の皆さまと連携を図りながら過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

●子どもをSIDSから守りましょう●

乳幼児突然死症候群（SIDS）とは

それまで健康状態に何の問題もなかった赤ちゃんが、睡眠中に突然死亡するという病気です。生後0～6か月の乳児に多いといわれています。残念ながらはっきりとした原因は分かっておらず、決定的な防止策はありません。しかし、日頃からSIDSに対して予防意識を持ち続け、できる限りの危険因子を取り除くことはできます。睡眠中はこまめにこどもの様子を確認し、子どもの命を守りましょう。

SIDS発生率は、入園初期やクラス替え等の環境変化（連休明けも）時が高いといわれています。特に新入園児の入園当日に14%、1週間以内30%、1ヶ月以内50%と高い割合を示しています。0～2歳児は、最近RSウイルスの関連が指摘されており、症状の重症度と突然死の相関はありません。RSウイルス感染に伴う突然死は、生後3か月以上3歳未満まで認められているため注意が必要です。インフルエンザの流行時期1～3月や秋10～12月にSIDS発生率が高いといわれています。

当園でのSIDS予防策

- うつぶせ寝をさせない
体位は寝かしつけから仰向けで寝かせる習慣をつけ、寝返りでうつ伏せになってしまったら、すぐに仰向けに戻しています
- 室内の温度や湿度管理を適正に保つ
夏期室温27～28℃ 湿度60～65% 冬期室温20～23℃ 湿度50～60%に保つように努めています
- 安全な睡眠環境を整える
バスタオルや毛布は顔にかからないようにし、シーツを敷いている場合は、しわに注意し、スタイを外す等顔の周りに物を置かないようにしています
顔色がきちんと観察できるよう、室内は明るさを調節しています
- 園の呼気観察表を使用して5～15分毎に観察
一人一人の身体に優しく触れて体温や呼吸を感じチェックしています
子どもの健康状態と合わせて、咳や嘔吐、鼻水が出ていないか、感染症の有無等も注意しながら観察しています

<家庭でできるSIDS予防策>

- 仰向けに寝かせる
- 敷布団は硬めのものを
- 掛布団は軽いものにし、掛けすぎない
- 布団が顔や口にかからないように
- 着せすぎに温めすぎに注意
- 顔の周囲にぬいぐるみやタオル等を置かない

